

日本プロセス化学会第 23 回理事会議事録

日時 2012 年 7 月 18 日(水) 15 時 00 分～17 時 30 分

場所 京都テルサ 西 3F 第 2 会議室

出席 19 名+記録係 1 名 (山本)、計 20 名参加

将来計画委員会日景尚睦氏のオブザーバー参加を了承

役員交代 (大野桂二理事に白木理事から、貴志直文理事に宮寺理事から)・新任 (田辺三菱丸山庄治理事復帰) の件を了承

議題

1 確認・報告事項

(1) 第 22 回理事会 (2011 年 12 月 9 日 HP 掲載) 議事録承認…富岡清会長

(2) 2012 サマーシンポジウム準備状況…高橋和彦理事

予約参加登録者 605 名、予約情報交換会参加登録者 314 名。

招待講演 11 名、座長は全て企業から選出。一般発表 (ポスター) 113 演題。

次回は締切直前までアクションを控える。

要旨集では薄めの紙を使用→軽量化及び扱い易さで好評。次回以降も継続する。

(3) 2012 ウィンターシンポジウム 12 月 7 日静岡グランシップ準備状況…満田勝理事

「プロセス化学におけるバイオトランスフォーメーション」

招待講演 4 演題と JSPC 優秀賞受賞講演 4 演題。

(4) 2013 サマーシンポジウム準備状況 (2013 年 7 月 18, 19 日つくば国際会議場)…加藤敏久
理事

タワーホール船堀が工事のため使用できない。

ジェネリックと医薬中間体、現薬メーカーにスポットを当てたシンポジウムとする。

演題内訳 (案): プロセス開発 2 題、中間体・原薬・HAPI 3 題、ジェネリック 3 題、大学 3 題

(5) 第 7 回プロセス化学ラウンジ 2012 年 11 月 29, 30 日 (木金) 和光純薬湯河原研修所 準備
状況…鴻池敏郎副会長

6 演題、講演時間 30 分、質疑 15 分程度、参加者約 50 名。

参加費 18,000 円 (学生 9,000 円)

話題提供: 滝山博志 (東京農工大)、横島聡 (名古屋大院)、赤尾淳史 (エーザイ)、古川晴雄 (塩野義)、村上正行 (第一三共)、竹口和宏 (アステラス)

前回に続き赤字解消も可能。

(6) 日本薬学会第 132 年会 (札幌) シンポジウム実施報告…鴻池敏郎副会長

参加者約 250 名、大盛況のシンポジウムであった。情報交換会 45 名参加。

(7) 地区フォーラム報告…左右田茂副会長

鹿島地区: 講演会と研究討論会を開催予定。

東四国地区: 次世代を担う人材育成を基本方針とし、セミナーを 3 回開催予定。

(8) JSPC 表彰委員会報告…左右田茂副会長

8 名から成る表彰委員会を立ち上げた。優秀賞選考委員の選出を担う。

役員任期制度を検討する。

(9) 編集出版委員会報告…塩入孝之編集出版委員長

- 1) 医薬品のプロセス化学 第2版が2012年4月に出版された。間違いあれば富岡会長にメールすること。
 - 2) 間瀬理事担当で「実践プロセス化学 これであなたもプロセスケミスト」を作成中。
 - ・修士卒が対象。GMPや大量合成を実践する際に指針となるべき本。
 - 3) 橋本監事による「プロセスケミストのための化学工学」を構想中。
プロセスケミストが化学工学を実践するに当たり、その指針となるべき本。化学工学担当者と議論する際に助けになれるを目指す。
- (10) その他 出前講義を活発に推進する。

2 協議事項

(1) 2011年度(2011年4月1日～2012年3月31日)決算案 (資料2)…富岡清会長

- ・未払い会費の回収に努力する。
- ・ゆうちょ銀行は全国に店舗が多く、振込手数料も安い。今後も維持する。

(2) 2012年度予算案 (資料3)…富岡清会長

- ・ウィンターシンポジウム事業費がここ3年間は300万円前後だが、目標は200万円である。
- ・間瀬理事が編集集中の本は、正会員・賛助会員に配布予定。

(3) 2012年度通常総会次第案 (資料4)…富岡清会長

過去のシンポジウムのHP閲覧ができないため、学会HPに載せる。

(4) 2012サマーシンポジウムJSPC優秀賞選考委員の選出…左右田茂副会長

大学・企業より8名選出。

(5) 2012ウィンターシンポジウムについて…鴻池敏郎副会長

ディスカッション時間を確保する。

(6) 日本薬学会第133年会シンポジウムについて…日景将来計画委員長

オーガナイザー：細川誠二郎（早稲田大理工）、日景尚睦（第一三共）アドバイザー：稲越直人（東和薬品）

テーマ：アート（技）を感じる医薬品プロセス化学

2時間、演者3名を予定。

(7) 地区フォーラムについて…左右田茂副会長

鹿島地区、東四国地区での活動が活発。

北陸地区も藤堂理事（富山化学）が中心となって地区活動が立ち上がりつつある。

2011年9月にはフォーラム富山「創薬」第34回研究会で、「最先端のものづくり：プロセス化学の発展と展開」をテーマとしたシンポジウムが開催された。

TOMECS (Toyama Medicinal Chemistry Society, 富山県の代表的地場産業である“クスリ”の研究開発の活性化を図ることを目的として設立された)との連携を図りながら、プロセスの富山地区での活動を活発にする。

TOMECSとプロセスの地区フォーラムを合同で開催しては、2013年に富山にプロセスの地区フォーラムを立ち上げる、2014ウィンターシンポジウムを富山で開催し、地区活動の活性化を図ってはどうか、等の意見が出された。

中国・北九州地区、および京阪神地区も視野の内。

(8) その他

第5回シンポジウム委員会報告（鴻池副会長）

- ・2012サマーシンポジウム担当の高橋理事に、シンポジウム運営マニュアルの作成を依頼。今後のシンポジウム運営が少しでも楽になるように。

- ・2013ウィンターシンポジウムは、寺田プロジェクト（文科省「新学術領域研究 有機分子触媒による未来型分子変換」）第3回公開講演会との合同シンポジウムとする。丸岡特定との合同シンポの開催実績があり、これに倣う。

・2013年の化学会年会において、秋山理事を中心としてプロセス化学シンポジウムを開催予定。

文責：富岡 清

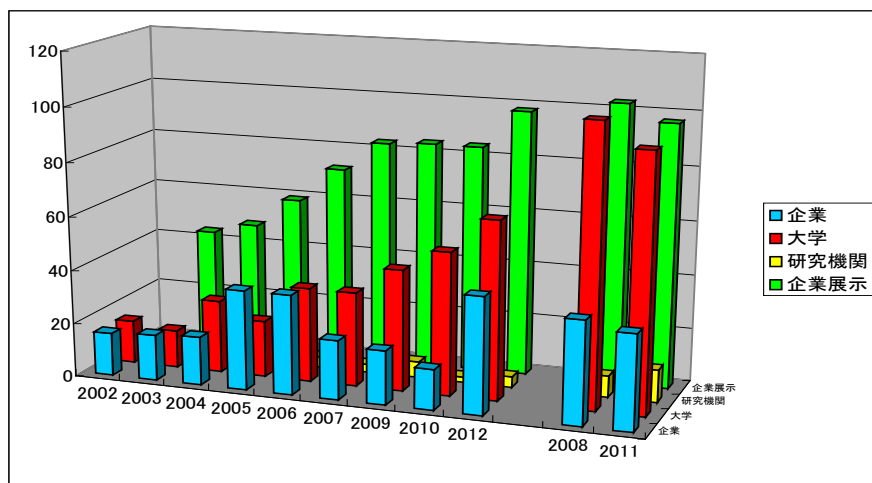
資料 1

2012 サマーシンポジウム準備状況

(大日本住友 高橋、京大院薬 高須)

1. トピックス

- ① 予約参加登録者：~~506~~ **605** 2010年実績 **612** (当日 131)
- ② 予約情報交換会参加登録者：~~309~~ **314** 2010年実績 **293** (当日 133)
- ③ 招待講演 (11名) の **座長 11名は全て企業の方** (化学工業日報インタビュー記事)
- ④ 一般発表 (ポスター) **113** 演題 2010年実績 **70** 演題
- ⑤ 企業展示：**95**社 (97ブース) 2010年実績：**79**社 (84ブース)
- ⑥ スタッフ数：**27**名 (弁当 **27**×2) 京大院薬、大日本住友、化学工業日報



- ⑦ 情報交換会に対する料理人数分：**400**名 (前回 **400**)
- ⑧ 要旨集の紙質：企業広告以外のページは薄めの紙を使用 (**20%削減**)
 - ・ 2012年サマーシンポジウム要旨集 328頁、732g、約1.5cm
 - ・ 2010年サマーシンポジウム要旨集 216頁、601g、約1.2cm
 - ・ 見開きにしても閉じにくく、紙の薄さからくるウラ写りは許容範囲
- ⑨ プログラム見直し (一般発表エントリーが増えたため)
 - ✓ オーラル時間を2分から1.5分に短縮、2日間の演題数に傾斜
 - ✓ 会場整備時間を有効活用 (京都テルサ特有) してポスター討論に
 - ✓ 総会時間5分短縮

2. 計画停電

6月22日になって関電から発表。京都テルサは緩和対象ではなく3Dグループ。

18日は1430-1700：3番目、19日は1230-1500：8番目、20日は1030-1300：5番目

1 → 8番目の順番で停電を実施していく為、理事会の時間帯は可能性あるが、会期本番は番号が後の方であり、実施の可能性は低い。招待講演はカットできない。停電をポスター討論にあてることも不可。一般発表のオーラルプレゼンと昼食時間帯を対象に。2時間前に予告があるとのことで、予告があった場合は、以下の通り対応する。

7月に入ってからの状況を確認し、計画停電の可能性が高まった場合は、プログラム変更の可能性を化学工業日報からメール・HPにてお知らせする。冒頭挨拶でも言及する。

1日目【12：30～15：00 8番目 (可能性非常に低い)】

実施のアナウンスが2時間前まで (～10:30) にあった場合は、昼食休憩とオーラルを完全にスキップする。コーヒブレイク時にアナウンス。

9:25 ～ 09:30 開会の辞 高橋 和彦 (大日本住友)

9:30 ～ 10:10 (I-1 招待講演) 満田 勝 (カネカ)

10:10 ~ 10:50 (I-2 招待講演) 村形 政利 (中外)
10:50 ~ 11:05 コーヒーブレイク
(10:30 までに計画停電の実施の有無連絡)
11:05 ~ 11:45 (I-3 招待講演) 寺田 眞浩 (東北大院理)
11:45 ~ 12:25 (I-4 招待講演) 堀口 良昭 (ユミコア・ジャパン)
12:25 ~ 15:05 停電休憩 (食事)
15:05 ~ 15:45 (I-5 招待講演) 国嶋 崇隆 (金沢大院医薬保)
15:45 ~ 17:30 ポスター会場討論 (10分短縮して105分)
17:30 ~ 19:30 情報交換会

2日目【10:30~13:00 5番目(可能性低い)】

実施のアナウンスが2時間前まで(~8:30)にあった場合は、I-7のあとコーヒーブレイクから昼食(停電)休憩に入り、オーラルを完全にスキップする。朝一番にアナウンス。

9:00 ~ 09:40 (I-6 招待講演) 佐々木 幹雄 (大日本住友)
9:40 ~ 10:20 (I-7 招待講演) 吉田 信也 (アステラス)
10:20 ~ 13:00 停電休憩 (食事)
13:00 ~ 13:25 総会 座長: 富岡 清 会長
13:25 ~ 14:05 (I-8 招待講演) Steve Collier (Codexis)
14:05 ~ 14:45 (I-9 招待講演) 南 卓 (ジョンソン・マッセイ・ジャパン)
14:45 ~ 16:20 ポスター会場討論 (5分短縮して95分)
16:20 ~ 17:00 (I-10 招待講演) 平野 勝久 (CTC ラボラトリーシステムズ)
17:00 ~ 17:40 (I-11 招待講演) 宍戸 宏造 (徳島大院 HBS 研)
17:40 ~ 17:45 2012JSPC 優秀賞発表 選考委員長
17:45 ~ 17:50 閉会の辞 高須 清誠 (京大院薬)

3. その他

- ① 飲料の寄付: ユミコアジャパン様 (ベルギービール)
- ② 招待講演演者への対応
 - ・ 参加費、情報交換会、ランチ(1日分)
 - ・ 国内(アカデミア): 講演謝礼: 30,000円と交通費・宿泊費実費

資料 4

日本プロセス化学会 2012 年度 通常総会次第 (案)

日時：2012 年 7 月 20 日 (金) 11:55~12:20

場所：京都テルサホール

1. 議事

第 1 号議案 役員交代・新任承認の件

第 2 号議案 日本プロセス化学会 2011 年度 決算案
監事監査結果 報告

第 3 号議案 日本プロセス化学会 2012 年度 予算案

第 4 号議案 事業計画の件

(1) 2012 サマーシンポジウム(京都テルサ)

2012 年 7 月 19 日(木)-20 日(金)

(2) 第 7 回プロセス化学ラウンジ (和光純薬湯河原研修所)

2012 年 11 月 29 日(木)-30 日(金)

(3) 2012 ウィンターシンポジウム (静岡グランシップ)

2012 年 12 月 7 日 (金)

(4) 日本薬学会第 133 年会「プロセス化学シンポジウム」(横浜)

2013 年 3 月 28 日 (木) -30 日 (土)

(5) 編集・出版状況

第 5 号議案 地区フォーラム活動について

第 6 号議案 その他

報告事項

a) 2011 年度事業報告

(1) 2011 サマーシンポジウム 2ndISPC (国立京都国際会館)

2011 年 8 月 10 日(水)-12 日(金)

(2) 2011 ウィンターシンポジウム (東京大学安田講堂) 2011 年 12 月 9 日(金)

(3) 第 6 回プロセス化学ラウンジ (和光純薬湯河原研修所) 2011 年 12 月 1 日(木)-2 日(金)

(4) 日本薬学会第 132 年会「創薬を革新するプロセス化学」(札幌)

2012 年 3 月 30 日 (金)

(5) 単行本「医薬品のプロセス化学 第二版」(化学同人) 2012 年 4 月刊行

(6) その他 出前講義

b) 会員入会状況

c) シンポジウム参加者数

d) その他